

町制施行40周年記念事業について

近藤 鎭治 議員



【問】18事業を予算化し、すでに10事業が実施済みであるが、その成果は。

【企画部長】町内小学生親子で木曽川水源の王滝村を訪ねるツアー、カローリング講習会、納涼まつりでの親子・地区住民のふれあい、絆づくりや、子どもミュージカル、中学校吹奏楽演奏会等、素晴らしい演奏・演技を披露し子供たちも自信につながり成果があった。

【問】今後の取組みは。

【企画部長】結果を検証し効果の大きい事業については検討していきたい。

【教育部長】町民レガッタ地区対抗種目は続けたいが、協力頂いた駐在員会議に諮り相談したい。

東郷診療所の運営状況は

【問】黒字化のめどは。

【健康部長】22年6月までの実績で判断は難しいが診療収入では前年比で50万円ほど増えている。

【問】病後児保育は診療所

の結論が出る23年秋まで待つべきではないか。

【福祉部長】一般会計で処理するため診療所特別会計とは連動しない。施策的に早期着手すべき事項であり23年度4月実施で進めている。

公園愛護会活動について

【問】活動状況はどうか。

【経済建設部長】現在の登録団体数9団体、会員数76名、管理公園数13ヶ所である。

【問】活動支援、助成はどう考えているか。

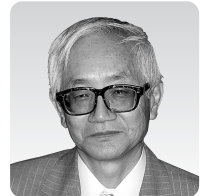
【経済建設部長】活動団体より色々要望もあるので今後考えて行きたい。



町民レガッタ選手控え用テント

町長二期目の決意は

石川 正 議員



【問】二期目の基本方針はどう考えているのか。

【町長】昭和60年制定の町民憲章（5力条）の実現が、目標と考えている。住民の目からの町づくりを進める。行政は、実現への支援だと思っている。

【問】最重点施策は何か。

【町長】①財政の健全化で、法人税の改善、企業に進出してもらい、消費税の落ちる施設の誘致②健康づくりで、歩くことによる健康促進③子育て支援で、出来ることから着実な実施。

公園の時計、トイレはどうなっているか

【問】公園に時計、トイレがあったり、なかったり。又時計文字盤が子ども向きでないものもある。どうなっているのか。

【経済建設部長】街区公園26、近隣公園2の計28公園中、時計15、トイレ14公園にある。

【問】国交省指針で、時

計・トイレは住民への便益施設となっている。町の指針はどうか。

【経済建設部長】時計、トイレは必須ではない。トイレは、利用マナーや施設損壊の問題があり設置したくない。町の指針はない。

【問】町の指針がないから、設置がバラバラだ。住民から見ても不公平に見える。考え方がおかしいと思うが。

【経済建設部長】自治区の要望があれば、設置の検討をしたい。

【町長】指針はないのは知らなかったが、おかしい。指針を決めた上での解決が基本と考えている。



公園に設置された時計